

特定技能になって決意も新たに。地元消防団員としても地域貢献

株式会社朝日工業は、旋盤やタッピングマシンを使って機械部品や自動車部品の加工や機械検査を行っています。技能実習生の受入れによって、社員の若返りと事業規模拡大をはかりました。田簀真司社長と、実習修了後に特定技能になったハー・タン・チュックさんにお話を伺いました。（インタビュー日：2022年2月）



社長、専務、チュックさん、実習生の皆さん

－ 外国人の雇用状況を教えてください。

（田簀社長）従業員17名中、外国人社員は5名います。特定技能1名・技能実習生3名（全てベトナム人）と、配偶者ビザのフィリピン人1名です。実習生は、**社内の活性化のために**、2015年から受入れを始めました。当時、社員の平均年齢は50代だったのですが、**実習生が入って若返りました。**

－ 外国人社員が入って、社内が変わりましたか？

（田簀社長）実習生を受け入れた当初は、日本語の専門用語がわからなかったのが大変でした。旋盤を使って危険な作業をするので、こちらが言うことをちゃんとわかっているのか不安でした。「わかりました」と言いながら、指示を忘れることもあるので、目が離せませんでした。今は操作も上手くなって、安心して見ていられます。

チュックさんは**仕事に対してとても真面目で、周りにも良い影響を与えています。**彼女が「ラジオ体操をしよう」と言い出して会社全体でラジオ体操を始めるなど、彼女の一言で変わっていくこともあります。

－ 来日の経緯を教えてください。

（チュックさん）ベトナムの日系企業で4年半、カメラの部品をペイントする仕事をしていました。日本で技能実習生をしている友人がたくさんいて、写真を見ると景色が素晴らしかったので、私も日本に行きたいと思ったんです。日本語学校で5ヶ月ほど勉強して日本に来ました。

－ 日本での仕事はどうでしたか？

（チュックさん）ベトナムで日本語を勉強した期間が短かったので、日本語が全然わからず、不安でした。でも、最後まで頑張らないといけないと思って頑張りました。会社の人はずごく優しく、仕事以外に生活する上で必要なこともいろいろ教えてくれました。

－ ご自分から特定技能を希望されたそうですね？

（チュックさん）特定技能は、技能実習生の友人から聞きました。日本はお給料が高くて、雇用も安定しているので、まだ日本にいたいと思って、社長にお願いしました。

（田簀社長）特定技能の制度は、彼女から聞いて初めて知りました。これまでの彼女の頑張りを見ていたので、「よし、やってみよう！」と即答でした。ね。**技能実習に比べれば、手続きも楽だと思います。**



朝日工業 従業員の皆さん



実習生に作業を教えるチュックさん

－ 実際に特定技能になって、いかがですか？

(チュックさん) 実習生の時より、しっかりやらないといけないと思っています。

(田蓑社長) 特定技能になると、時給から月給に変わり、給料も日本人社員と同等になります。ですから、心がけについてすごく注意しましたね。「日本では高い品質を求められ、ちょっとしたミスも許されない。責任感を持って働いてほしい」と。

彼女が特定技能になれたのは、これまで頑張った成果です。**他の実習生も「頑張れば特定技能になれる」という夢を持ってもらえたら**と思い、敢えて特定技能と技能実習の待遇の差を縮めることはしていません。

－ 仕事以外にも、地域で活躍されているそうですね？

(田蓑社長) 地元の**尼崎消防団に入団**して、防災訓練に参加したり、地域住民に防災について説明したりしています。私と弟が消防団に入っていて、女性の消防団員を見て、興味を持ったようです。実習生のときは実習以外の活動は認められませんでした。特定技能になった後、2人で入管に行って、資格外活動の許可をもらったのです。日本人の中で一人ベトナム人として頑張っている姿はとても素晴らしいと思います。

－ 外国人材の導入を考えている企業にアドバイスをお願いします。

(田蓑社長) **日本人と同様に接してあげる**ことだと思います。よその国からやって来るのだから、自分の弟や妹、息子や娘として接してあげてほしいですね。**信頼関係を築けば**、実習生への虐待のような悲しい事件はなくなるのではないのでしょうか。



尼崎市消防出初め式

逆に、**特別扱いもしません**。当社では、ベトナム語の表示は一切ありません。仕事では日本語を使い、「わからない日本語があれば、すぐに調べなさい」と言っています。職場でベトナム語を許すと、日本語を勉強しなくなります。厳しいようですが、長い目で見れば彼女達のためです。チュックさんは、行政手続や病院の受診も自分でやります。住まいは会社で借りていますが、家賃は自分で払っていきます。不動産屋と一言話すのも勉強になるでしょう。



防災訓練で教えるチュックさん

－ 外国人本人にもアドバイスを。

(チュックさん) 日本語を一生懸命勉強してください。

(田蓑社長) 不安も大きいと思いますが、夢もあるでしょう。どの会社で働くか、急いで決めるのではなく、会社側と十分に話して決めることが大切だと思います。

担当者からの一言

田蓑社長は、オーストラリア留学時に、ベトナム人の勤勉さに強い印象を受けたそうです。インタビュー時も、「彼女が特定技能になれたのは今まで頑張った成果」「日本に来て一生懸命やった人には、次のステップを用意すべきではないか」等、外国人材を積極的に評価して報いようとする姿勢を強く感じました。

【株式会社朝日工業】

住所：尼崎市御園2-2-36
代表者：代表取締役 田蓑 真司
創業：1997年、設立：2008年
業種：金属加工
資本金：300万円
従業員数：17名（うち特定技能1名、技能実習生3名、日本人の配偶者等1名）

1. 外国人の雇用にあたり、取り組んでいること

- （消防団活動への参加など、地域ぐるみでの受入）

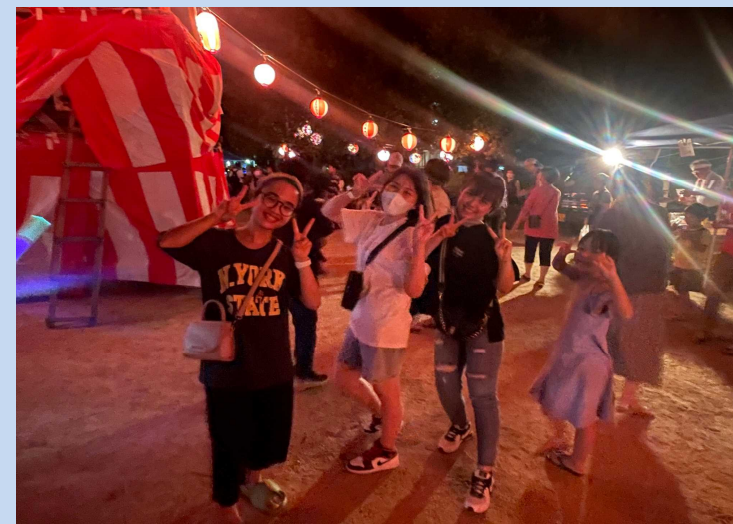


弊社では、私自身も含めて4人の尼崎市消防団員が在籍しております。その中の一人が、『特定技能外国人』のベトナム人女性です。彼女は積極的に防災訓練や、三木市の消防学校での研修に参加したり、地域住民に応急救護(AEDの取り扱い方)について説明したりしています。その他の外国人は、ベトナム人実習生が3人在籍しています。その三人も、地域の防災訓練に積極的に参加し、彼女の活躍を近くで見えています。

最初に大阪入国管理局に『尼崎市消防団に入団したい』と、問い合わせたところ『消防団による資格外活動』は認めて頂けませんでした。それでも納得ができず、再度、大阪入管に二人で出向き消防団の意義を説明させて頂きました。その結果、大阪入国管理局の担当者様の方も外国人の消防団活動の必要性を理解して頂き、『消防団活動への資格外活動』を認めて頂きました。

その時の大阪入国管理局の担当者様には、私も彼女も本当に感謝しています。

その他、消防団活動以外にも地元の盆踊り、コロナ渦で延期されていた地元の秋祭りなど、日本文化に積極的に参加するように呼び掛けています。もちろん飲み会もしています。



2. 外国人の日本語能力の必要性

- 対策

昨今、外国人労働者の問題が、ニュースなどで取り上げられている場面が多いです。

これからの日本社会の中で、外国人が日本人社会に入り込み、日本人と同等に生活するには、日本語の習得が必要不可欠と思います。他の国では、自国の言語が理解できなければ、ビザを習得するにも難しいです。しかしながら、今の日本では、日本語も理解出来ない外国人が多く働いているように感じています。

日本語能力が低い外国人と日本人が、同一賃金(働き方改革)で働いている会社は、これから大きな問題に直面することが予想されます。そのような問題を抱える前に、日本で働く外国人には日本語検定能力試験のN3を、最低限習得してから日本に来て欲しいと思います。

弊社では、無料の日本語学校の紹介や、作文などを通して日本語能力の向上に努めています。

消防団HP:

<http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/kurashi/syobo/syobodan/index.html>

消防団広報動画: <https://youtu.be/2ROaBaq4cP4>